

循環器内科コース

一般目標

1. 患者本位の医療を行う。
2. 3次救急医療を行う。
3. 循環器専門医になるための基礎的な能力を習得する。

循環器内科の診療の概要

1. 当院は地域の中核になる病院で救命救急センターがあり、循環器内科は3次救急に携わる。従って急性心筋梗塞などの迅速な処置を必要とする患者の治療が正確にすばやくできるようになることが必須である。
2. 循環器内科の医師は6人でそのうち専門医は5人である。
3. 心臓カテーテル検査は年間800~900例で、そのうちPTCAを行う患者は約250例である。虚血性心疾患患者が最も多くその治療法として、冠動脈ステント、ロータブレーター、IABP、PCPS、冠動脈血栓吸引、などを行っている。

心臓弁膜症の治療については、僧帽弁狭窄症や肺動脈弁狭窄症に対するバルーンによる拡張（PTMC）なども行っている。

徐脈疾患に対するペースメーカーの植え込みも年間約80例行っている。最近ではCRTの症例も増えてきている。

4. 外来は週2回で、特殊外来（ペースメーカー外来）も行っている。

研修の目標

1. 基本的診察法・患者に対する接し方の習得
2. 心エコー、心筋シンチなど各種の非観血的な検査法での診断の習得
3. 心臓カテーテル検査、冠動脈インターベンション、ペースメーカーの植え込みなど観血的な治療法を指導医とともに実施する。
4. 救急当番での救急疾患の初期治療を豊富に経験する。
5. 指導医とともに1年次臨床研修医の指導も担当することで自己の能力・知識を研鑽する。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	心筋シンチ	心カテ、シンチ	ペースメーカー	心カテ	心カテ
午後	ペースメーカー	心カテ	心筋シンチ	心カテ	ペースメーカー
		カンファレンス			